

令和5年1月31日
豊小学校学校関係者評価委員会
委員長 梅本澄雄



【第2回学校関係者評価委員会】

- 1 実施日 令和5年1月27日
- 2 会場 豊小学校相談室
- 3 参加者

(1) 学校関係者評価委員

No.	氏名	役職	備考
1	五味 克明	豊地区自治会会長	
2	齊藤 尚子	元本校校長	
3	梅本 澄雄	豊地区教育振興会会長・元本校校長	委員長
4	津久井 豊徳	元市教育委員・元校長（楡形中学校）	
5	吹野 武文	豊地区主任児童委員	副委員長
6	村松 雄太	P T A会長（保護者代表）	

(2) 学校職員（3名）

No.	氏名	役職	備考
1	名取 広行	校長	本校在籍4年目
2	横山 啓二	教頭	本校在籍2年目／事務局
3	上野 中	教務主任	本校在籍3年目

4 学校から提案された内容

- (1) 教職員による後期自己評価アンケートの状況
- (2) 学校生活に関する後期前期児童アンケートの状況
- (3) 学校生活に関する保護者アンケートの状況
- (4) 豊小学校後期自己評価書（アンケートの分析及び改善方策について）

5 協議内容・意見

○豊小学校後期自己評価書に対する考察

（教職員・児童・保護者アンケートの考察／改善方策に対する検証）

(1) 学校経営・組織について

- ・職員が校長のリーダーシップのもと、児童の状況をよく理解して、意欲をもって活動している様子がうかがえる。登下校時の児童の様子を見ている、教職員集団が良いチームとして機能していることがわかる。
- ・特別な支援が必要な児童もいるだろうが、組織的に取り組んでいる。担当が1人で抱え込まないような取組がなされている。また、チームとしてスピーディーに対応してくれている。

(2) 学習指導について

- ・豊小学びプランや山梨スタンダードにそって、効果的・効果的に学習が進められている。
- ・児童アンケートの「⑨わたしは、学校の授業がわかる。」について、「分かる」と答えている児

童は95%で、前期よりも増えている。これは素晴らしい。通常、後期の内容が難しくなり、数値は下がるはずだが上がっている。なぜ上がっているのかについて分析できると来年度につながる。一方で5%の児童が否定的な回答をしていることについても真摯に受け止め、授業改善に取り組んでほしい。

- ・「教室がせまい。」という話を校長から聞いたので、授業を参観した。単級の学年は、やはりせまいと感じた。人的環境と共に物的環境を整えられるよう、市や県へ働きかけをしていく必要がある。

(3) 生徒指導・生活指導について

- ・「学校が楽しい。」と回答した児童が93.6%いることは素晴らしい。これからも否定的な回答をしている6%の児童に目をむけて取組を強化してほしい。よい人間関係づくりが深い学びにもつながっていく。学習面にしても生活面にしても少数の児童に目を向ける教育が重要である。
- ・課題を抱えている家庭に対しては、市担当課や外部機関と連携し対応しているようである。担任だけで課題を抱え込まないようにしていくことが大事である。民生委員の間でも「豊小は大きな問題もなく、児童が落ち着いて学校生活を送っている。」という声が聞かれている。
- ・いじめ対策委員もしているが、先日のいじめ対策委員会で、いじめアンケートの結果を見た。6年生がいじめ報告0であった。高学年で「0」は先生方のきめ細かな指導の賜物である。
- ・民生委員として学校に気になる児童について話をしたところ、すぐに対応してくれた。学校と地域との結び付きが大事であり、それが、早期発見・早期解決につながっている。

(4) 保護者・地域との連携について

- ・本年度は、コロナ禍でも諸行事などをスムーズに行うことができた。よいことだ。PTA活動については、やれることはしっかりやりつつ、早朝作業については、感染症の蔓延を避けて中止した。
- ・保護者としても学校との連携を大切にしてきた。学校側が常に相談をしてくれるので、良い連携ができている。
- ・PTA活動が学校運営に大いに役立っている様子が伺える。
- ・保護者アンケートについて、9項目について昨年度を上回っている。「⑦授業参観や運動会・音楽会（学園祭や合唱祭）などの学校行事は、お子さんの様子を知る機会となっていますか」が若干下がっているがコロナ禍で致し方ない。「⑭学校は、子どもの問題に適切に対応していますか」については、73%から83%と大きく伸びている。学校側は自信をもって良いと思う。
- ・施設の改善は、学力向上にもつながる。学校だけで改善できる問題ではないが、教育環境の整備を大事してほしい。

(5) 小中一貫教育について

- ・各学校が特色ある教育活動を展開しつつ、9年間で育むべき児童生徒像を楡形中学校区で共有していくことが大切である。長いスパンで児童生徒を育てていくことが大事である。
- ・コミュニティスクールへの移行は、どのように進んでいくのかが、わからない。地域で児童を育てていくためには、しっかりとした議論が必要である。保育所、幼稚園との連携も大事である。

(6) その他について

- ・働き方改革について、教職は体あつての仕事である。改善傾向にあるので安心したが、健康面に留意した取組が大事である。
- ・保護者としての心配であるが、コロナが5類になることで学校でのマスク着用がどうなるのか。マスクを外すことに抵抗がある児童がいるのではないだろうか。一律でなく、柔軟な対応ができるとよい。